



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年7月31日

上場会社名 株式会社 J A L U X
 コード番号 2729 URL <https://www.jalux.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 篠原 昌司
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 山崎 泰弘
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6367-8822

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	36,327	△15.5	1,035	△17.6	1,262	△2.7	765	△0.2
2019年3月期第1四半期	42,996	20.3	1,256	37.4	1,298	23.1	766	13.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 818百万円 (△2.0%) 2019年3月期第1四半期 834百万円 (22.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	60.51	—
2019年3月期第1四半期	60.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	56,861	25,471	42.2
2019年3月期	56,887	26,051	42.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 24,004百万円 2019年3月期 24,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

当社は定款において期末日及び第2四半期末日を配当基準日と定めていますが、現時点では当期末日における配当予想額は未定です。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	2.3	6,000	29.6	6,500	27.6	3,500	18.1	276.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	12,775,000株	2019年3月期	12,775,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	131,493株	2019年3月期	131,414株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	12,643,550株	2019年3月期1Q	12,643,696株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる事項については、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善に加え、インバウンド需要の伸長を背景に景気は緩やかな回復基調となりました。一方で米中貿易摩擦の長期化懸念など先行きは不透明な状況で推移しました。

このような環境の下、当社グループの事業概況は、以下のとおりとなりました。

売上高は、航空機エンジン部品販売の減少などにより、前年同期比6,668百万円減の36,327百万円(84.5%)となりました。

売上総利益は、前年同期比62百万円減の6,530百万円(99.1%)となりました。

営業利益は、人件費の増加など販売費及び一般管理費が増加したことにより、前年同期比221百万円減の1,035百万円(82.4%)となりました。

経常利益は、持分法による投資利益が増加しましたが、前年同期比35百万円減の1,262百万円(97.3%)となりました。

これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比1百万円減の765百万円(99.8%)となりました。

連結業績 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (2018年4～6月)	当第1四半期 (2019年4～6月)	前年同期比(%)	前年同期差
売上高	42,996	36,327	84.5	△6,668
売上総利益	6,592	6,530	99.1	△62
営業利益	1,256	1,035	82.4	△221
経常利益	1,298	1,262	97.3	△35
親会社株主に帰属する 四半期純利益	766	765	99.8	△1

[セグメントの概況]

セグメント別の概況につきましては以下のとおりです。

当第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を、従来の配賦前営業利益から全社費用等(管理部門の費用等)配賦後の経常利益に変更しています。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、上記変更を踏まえて作成したものを記載しています。

また、当第1四半期連結会計期間より、「航空・空港関連事業」のセグメント名称を「航空・空港事業」に変更しています。

① 航空・空港事業

当セグメントでは、航空機や航空機部品などの販売、空港用特殊車両や整備機材などの販売、航空機エンジンリース事業、海外空港の運営事業などを行っています。

主力である重工業向け航空機エンジン部品販売は、一部取引先への販売が減少しました。シンガポールにおける航空機エンジンリース事業は引き続き堅調に推移しました。また、海外空港の運営事業における持分法による投資利益は増加しました。

以上の結果、当セグメントにおける売上高は11,908百万円(前年同期比61.7%)、営業利益は309百万円(同88.5%)、経常利益は282百万円(同95.8%)となりました。

航空・空港事業 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (2018年4～6月)	当第1四半期 (2019年4～6月)	前年同期比(%)	前年同期差
売上高	19,295	11,908	61.7	△7,386
営業利益	349	309	88.5	△40
経常利益	294	282	95.8	△12

② ライフサービス事業

当セグメントでは、不動産事業での不動産販売・分譲・仲介・賃貸、施設管理、高齢者・介護施設の運営事業、保険事業での損害・生命保険の保険代理店業、機械・資材事業での印刷・用紙・包材の販売、特殊車両の販売、道路関連資機材の販売などを行っています。

不動産事業は、仲介や施設管理業務などが増加しました。また、タイにおけるサービスアパートメント運営事業で稼働率が向上しました。保険事業は、JALカード会員向け保険通信販売などが増加しました。機械・資材事業は、用紙・包材などの販売が増加したほか、米国での道路補修材の販売が増加しました。

以上の結果、当セグメントにおける売上高は3,083百万円（前年同期比108.4%）、営業利益は245百万円（同127.8%）、経常利益は125百万円（同167.8%）となりました。

ライフサービス事業 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (2018年4～6月)	当第1四半期 (2019年4～6月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	2,843	3,083	108.4	239
営業利益	192	245	127.8	53
経常利益	74	125	167.8	50

③ リテール事業

当セグメントでは、空港店舗事業、免税店舗事業、免税店舗向け卸販売、通信販売、贈答用食品販売などを行っています。

空港店舗事業「BLUE SKY」は、前期に一部店舗を閉鎖したため、店舗数の減少などにより販売が減少し、また人件費などが増加しました。免税店舗事業は、一部店舗の改装や訪日外国人の消費動向の変化などが影響し販売が減少しました。免税店舗向け卸販売は、大型連休に伴う一部特需などにより増加しました。通信販売は、インターネット販売が増加しました。

以上の結果、当セグメントにおける売上高は14,874百万円（前年同期比98.5%）、営業利益は722百万円（同77.2%）、経常利益は616百万円（同75.8%）となりました。

リテール事業 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (2018年4～6月)	当第1四半期 (2019年4～6月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	15,102	14,874	98.5	△228
営業利益	935	722	77.2	△212
経常利益	813	616	75.8	△197

④ フーズ・ビバレッジ事業

当セグメントでは、水産物、農産物、ワイン、加工食品の卸販売、食料品製造などを行っています。

水産物は、水産加工品の卸販売などが増加しました。農産物は、主力輸入野菜の卸販売が順調に推移しました。ワインは、ホテル・レストラン・小売業向け卸販売が増加しました。加工食品は、弁当類及び当社オリジナル菓子類の卸販売が堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントにおける売上高は6,879百万円（前年同期比113.8%）、営業利益は262百万円（同98.8%）、経常利益は139百万円（同100.0%）となりました。

フーズ・ビバレッジ事業 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (2018年4～6月)	当第1四半期 (2019年4～6月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	6,046	6,879	113.8	833
営業利益	265	262	98.8	△3
経常利益	139	139	100.0	0

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

航空機エンジン部品の販売が減少したとともに、売上債権の回収が進んだ結果、売上債権が減少しました。また、航空機エンジン部品等のたな卸資産が減少しました。

一方で、不動産事業における賃貸用不動産の取得や空港店舗事業における店舗改装等を行い、固定資産が増加しました。

その結果、総資産は前連結会計年度末と比較して25百万円減少し、56,861百万円になりました。

(負債)

法人税等の支払い、借入金の返済を行った一方で、コマーシャル・ペーパーを発行しました。

その結果、負債合計は前連結会計年度末と比較して554百万円増加し、31,389百万円になりました。

(株主資本)

親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、配当により利益剰余金が減少しました。

その結果、株主資本は前連結会計年度末と比較して61百万円減少し、24,508百万円になりました。

また、自己資本比率は0.2ポイント減少し、42.2%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において通期の業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,050,750	6,631,291
受取手形及び売掛金	21,328,708	20,321,848
たな卸資産	14,371,088	13,614,382
その他	4,669,203	4,792,288
貸倒引当金	△20,916	△20,589
流動資産合計	46,398,833	45,339,221
固定資産		
有形固定資産	4,508,210	5,020,823
無形固定資産	490,919	489,284
投資その他の資産		
その他	5,504,594	6,025,102
貸倒引当金	△15,556	△12,948
投資その他の資産合計	5,489,037	6,012,154
固定資産合計	10,488,167	11,522,261
資産合計	56,887,000	56,861,482
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,687,138	10,401,878
短期借入金	7,741,919	6,332,022
コマーシャル・ペーパー	2,999,997	5,999,995
未払法人税等	1,001,952	239,652
未払費用	5,767,120	4,657,832
その他	3,130,047	2,486,996
流動負債合計	29,328,176	30,118,378
固定負債		
長期借入金	940,569	699,400
退職給付に係る負債	43,928	43,566
その他	523,023	528,498
固定負債合計	1,507,521	1,271,464
負債合計	30,835,698	31,389,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,558,550	2,558,550
資本剰余金	688,723	688,723
利益剰余金	21,458,367	21,396,955
自己株式	△135,155	△135,373
株主資本合計	24,570,484	24,508,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,295	28,483
繰延ヘッジ損益	△17,932	△78,429
為替換算調整勘定	△392,253	△405,996
退職給付に係る調整累計額	△50,884	△48,617
その他の包括利益累計額合計	△441,774	△504,559
非支配株主持分	1,922,592	1,467,343
純資産合計	26,051,302	25,471,639
負債純資産合計	56,887,000	56,861,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	42,996,047	36,327,278
売上原価	36,403,410	29,797,002
売上総利益	6,592,636	6,530,275
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	409,537	436,777
給料及び手当	1,823,419	1,918,733
退職給付費用	63,790	61,941
減価償却費	109,637	146,215
貸倒引当金繰入額	1,637	△844
賃借料	1,172,880	1,142,802
その他	1,754,978	1,789,288
販売費及び一般管理費合計	5,335,883	5,494,915
営業利益	1,256,753	1,035,360
営業外収益		
受取利息	2,321	214
受取配当金	15,625	19,233
持分法による投資利益	101,518	194,649
為替差益	-	38,402
その他	12,068	20,549
営業外収益合計	131,532	273,049
営業外費用		
支払利息	30,841	41,934
支払手数料	1,109	2,544
為替差損	57,455	-
その他	763	1,075
営業外費用合計	90,170	45,554
経常利益	1,298,115	1,262,855
特別利益		
固定資産売却益	871	-
子会社株式売却益	-	9,630
特別利益合計	871	9,630
特別損失		
固定資産処分損	3,210	7,994
特別損失合計	3,210	7,994
税金等調整前四半期純利益	1,295,776	1,264,491
法人税等	382,661	383,207
四半期純利益	913,114	881,284
非支配株主に帰属する四半期純利益	146,593	116,163
親会社株主に帰属する四半期純利益	766,521	765,120

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	913,114	881,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,602	10,307
繰延ヘッジ損益	90,413	△60,497
為替換算調整勘定	△156,456	8,784
退職給付に係る調整額	5,073	2,266
持分法適用会社に対する持分相当額	△13,928	△24,103
その他の包括利益合計	△78,501	△63,241
四半期包括利益	834,613	818,042
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	696,884	702,335
非支配株主に係る四半期包括利益	137,728	115,706

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空・空港事 業	ライフサービ ス事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,295,374	2,807,457	15,085,360	5,807,853	42,996,047	—	42,996,047
セグメント間の内部売上高 又は振替高	330	35,685	17,558	238,187	291,763	△291,763	—
計	19,295,705	2,843,143	15,102,919	6,046,041	43,287,810	△291,763	42,996,047
セグメント利益(経常利益)	294,783	74,678	813,296	139,391	1,322,150	△24,034	1,298,115

(参考) 従前のセグメント利 益(営業利益)	349,541	192,127	935,807	265,741	1,743,217	△486,464	1,256,753
---------------------------	---------	---------	---------	---------	-----------	----------	-----------

(注) 1. セグメント利益の調整額△24,034千円には、セグメント間取引消去536千円、全社費用の配賦額と実際発生額の差額及び配賦不能の全社損益△24,570千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。また、配賦不能の全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益及び営業外費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益から調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空・空港事 業	ライフサービ ス事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,908,514	3,050,931	14,871,475	6,496,355	36,327,278	—	36,327,278
セグメント間の内部売上高 又は振替高	402	32,077	2,584	383,083	418,148	△418,148	—
計	11,908,917	3,083,009	14,874,060	6,879,438	36,745,426	△418,148	36,327,278
セグメント利益(経常利益)	282,291	125,298	616,139	139,434	1,163,163	99,691	1,262,855

(参考) 従前のセグメント利 益(営業利益)	309,310	245,455	722,885	262,438	1,540,089	△504,729	1,035,360
---------------------------	---------	---------	---------	---------	-----------	----------	-----------

(注) 1. セグメント利益の調整額99,691千円には、セグメント間取引消去12千円、全社費用の配賦額と実際発生額の差額及び配賦不能の全社損益99,679千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。また、配賦不能の全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益及び営業外費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益から調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、セグメントの名称を従来の「航空・空港関連事業」から「航空・空港事業」に変更しています。

また、当社においては、営業利益及び経常利益とともに重要な経営指標として管理しておりましたが、持分法による投資利益が増加してきたことから、経営管理指標として経常利益を用いることの必要性がより高まったと判断したため、当第1四半期連結会計期間より、セグメント利益を配賦前営業利益から全社費用等配賦後の経常利益に変更しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、上記変更を踏まえて作成したものを記載しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。